

令和3年度

社会科

2年

年間指導計画・評価計画

*評価基準＝①知識②表現③態度

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法
					知	思	態	
1学期	4月	10	◇地理分野 第2章 日本の地域的特色	日本の自然環境や人口、産業にはどのような特色があるのか理解する。	○		○	①日本の地形や気候、国土の特色など自然環境に関する特色を理解している。 ①日本の人口、資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ②日本の地域的特色を「自然環境」「資源・エネルギーと産業」「人口」の項目について、地域区分に着目して、それらを関連付けて多角的・多面的に考察し、表現している。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及しようとしている。 (学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査)
	5月	11	第2章日本の地域的特色 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方	・交通網や通信網が発達することによっておこった、世界や日本地域間の結びつきの変化を理解する。 ・九州地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ・中国・四国地方の自然環境と生活の特色を理解する。 ・海上交通の利点を生かして瀬戸内地域の工業の特色について考える。	○		○	①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況を、国内各地の結びつきや世界との結びつきの特色を理解している。 ①九州地方の特色ある事象と、それに関する他の事象やそこで生ずる課題を理解している。 ①中国地方の特色ある事象と、それに関する他の事象やそこで生ずる課題を理解している。 ②自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多角的・多面的に考査している。 ②中国・四国地方の産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多角的・多面的に考察している。 ③九州地方の自然環境と生活、産業の関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追及しようとしている。 (学習に取り組む態度、暗唱テスト、ミニテスト、定期考査)
	6月	15	日本の諸地域 中国・四国地方 近畿地方 中部地方	・中国・四国地方の他地域との結びつきを活かした農業の特色について考える。 ・過疎化が進む山陰地方の交通網の整備による変化について考える。 ・近畿地方、中部地方の地域的特色や地域の課題を理解する。 ・近畿地方、中部地方の産業の特色や課題を理解する。	○		○	①地図や資料から、中国・四国地方の通信・交通網による結びつきを具体的にとらえ、産業や生活の変化を理解している。 ①地図や資料から、近畿・中部地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿・中部地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多角的・多面的に考察している。 ②中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、産業が発達した理由について多角的・多面的に考察している。 ③自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、近畿地方の地域的特色に関心をもち、主体的に追及しようとしている。 ③産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、主体的に追及しようとしている。 (学習に取り組む態度、暗唱テスト、ミニテスト、定期考査)

	7月	7	日本の諸地域 関東地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、関東地方の特色ある地理的事象を理解する。他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察する。	○	○	○	①関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。 (学習に取り組む態度、暗唱テスト、ミニテスト、定期考査)
	8月	4	日本の諸地域 東北地方	・他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北地方の特色ある地理的事象を理解する。他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	○	①地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。 ②東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それにもなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。 ③東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもって主体的に追究している。 (学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査)
	9月	10	日本の諸地域 東北地方 北海道地方 第4部 地域のあり方	・東北地方の産業の発達をもたらした人々の生活の変化について考える。 ・他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、北海道地方の特色ある地理的事象を理解する。他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付ける。	○	○	○	①東北地方の交通網の発達と産業の発達との関連を適切に読み取り、産業の発達をもたらした人々の生活の変化について理解している。 ①地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。 ②産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかかわりなどと関連づけて多面的・多角的に考察している。 ③自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究している。 ①地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ②地域の在り方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 (学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査)

2 学期	1 0 月	1 2	身近な地域の調査 ◇歴史分野 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と対外政策	・地形図や主題図の読み取り、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につける。 ・地域調査を通じて、地域の課題を解決するために必要な取り組みを考えて議論したりする。 ・ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解する。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。	○	○	①地形図や主題図の読み取り、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけている。 ②地域調査において、対象となる場所の特徴をとらえて、まとめられるように多角的・多面的に考察し、表現している。 ③地域調査の手法について、課題を主体的に追及しようとしている。 ①ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。 ②交易の広がりとその影響に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ヨーロッパ人との出会いと全国統一について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ①江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ②統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③江戸幕府の成立と対外政策について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査）
	1 1 月	1 4	3節 産業の発達と幕府政治の動き 1節 欧米における近代化の進展	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・近世の日本について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。	○	○	①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ②近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の発達と幕府政治の動きについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ②工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③欧米における近代化の進展について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査）

3 学 期	1 2 月	1 2	産業革命と資本主義 2 節 欧米の進出と日本の開 国	・ イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。 ・ 開国とその影響を基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。	○		① 産業革命による変化の様子と資本主義社会の成立が、ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。 ② 欧米諸国が世界に先駆けて発展した理由を、市民革命や産業革命と関連付けて考察し、表現している。 ③ 開国とその影響などを基に、幕府が対外政策を転換したことと、それが国内の大きな変化につながったことを理解している。 ④ 欧米諸国のアジア進出の理由や背景などに着目し、開国の影響とその後の幕府政治の動向などを考察し、表現している。 ⑤ 開国とその影響について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査)
	1 月	1 2	3 節 明治維新 4 節 日清戦争	・ 開国とその影響を基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解する。	○	○	① 富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ② 明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ④ 日清戦争や条約改正などを基に、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。 ⑤ 対外戦争を経て近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ⑥ 日清・日露戦争と近代産業について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査)
	2 月	1 0	4 節 日露戦争と近代産業 5 節 第一次世界大戦と日本	・ 我が国の産業革命によりこの近代文化が形成されたことを理解する。 ・ 日露戦争と近代産業について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。 ・ 第一次世界大戦の背景とその影響を国際社会の中で理解する。 ・ 第一次世界大戦前後の国際情勢について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	① 我が国の産業革命を基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 ② 対外戦争を経て近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ 日露戦争と近代産業について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ④ 第一次世界大戦の背景とその影響で国際平和への努力がなされたことを理解している。 ⑤ 第一次世界大戦前後の国際情勢について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ⑥ 第一次世界大戦と日本について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 (学習に取り組む態度、ミニテスト、定期考査)

	3月	10	2節 大正デモクラシーの時代	・第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 ・大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。	○		○	○ ①我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 ②世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現を多面的・多角的に考察し，表現する。 ③大正デモクラシーの時代について，そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 （学習に取り組む態度、ミニテスト）
--	----	----	-------------------	---	---	--	---	---